

a を実数の定数として、次のような x の 2 次方程式を考える。

$$x^2 - 5x + 8 = a(x - 1)$$

- (1) $1 \leq a \leq 2$ でこの方程式が実数解をもつとき、その解の値の範囲を求めよ。
 (2) $2 \leq x \leq 4$ において、異なる 2 つの実数解をもつような a の値の範囲を求めよ。

(14 青森公立大 2)

【答】

- (1) $2 \leq x \leq 5$
 (2) $1 < a \leq \frac{4}{3}$

【解答】

$$x^2 - 5x + 8 = a(x - 1) \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

- (1) 方程式 $\textcircled{1}$ の実数解は放物線 $y = x^2 - 5x + 8$ と点 $(1, 0)$ を通り傾き a の直線 $y = a(x - 1)$ の共有点の x 座標である。

$a = 1$ のとき

$$\textcircled{1} \iff x^2 - 5x + 8 = x - 1$$

$$x^2 - 6x + 9 = 0$$

$$(x - 3)^2 = 0$$

$$\therefore x = 3 \text{ (重解)}$$

$a = 2$ のとき

$$\textcircled{1} \iff x^2 - 5x + 8 = 2(x - 1)$$

$$x^2 - 7x + 10 = 0$$

$$(x - 2)(x - 5) = 0$$

$$\therefore x = 2, 5$$

であるから、右図を得る。

よって、 $1 \leq a \leq 2$ で方程式 $\textcircled{1}$ はつねに実数解をもち、その解の値の範囲は

$$2 \leq x \leq 5$$

……(答)

である。

- (2) 放物線の一部 $y = x^2 - 5x + 8$ ($2 \leq x \leq 4$) と直線 $y = a(x - 1)$ が共有点をもつときを調べる。

x 座標が 4 となる共有点が存在するときの a の値は

$$4^2 - 5 \cdot 4 + 8 = a(4 - 1)$$

$$4 = 3a$$

$$\therefore a = \frac{4}{3}$$

であり、(1) のグラフとあわせると右図を得る。

よって、 $2 \leq x \leq 4$ において、異なる 2 つの実数解をもつような a の値の範囲は

$$1 < a \leq \frac{4}{3}$$

……(答)

である。

- $x^2 - (a + 5)x + a + 8 = 0$ が $2 \leq x \leq 4$ の範囲に異なる 2 つの実数解をもつための a の値の範囲として解くこともできるが、定数 a が分離された式の形をいかしたい。

